

科目区分・分類	一般・講義	対象学科名・学年	環境都市4年	科目コード	47011810
科目名	ドイツ語 German I				
担当教員	中村 博雄				
単位数(時間数)	必修 後期 1単位 (30時間)	学習・教育目標との対応	(A-1)		
授業の目的と概要	ドイツ語の発音・綴り・文法の基礎(名詞・冠詞・前置詞・動詞の特徴)を学ぶ。ドイツ語の辞書の使い方をマスターし、簡単なドイツ文を読めるようにする。				
先修科目					
後修科目	ドイツ語				
備考	収録語数5万～6万語程度の独和辞典が必要である。ドイツ語の文献(ドイツ製品のカタログ・雑誌・文学作品・思想書等)が正確に読めるようになるにはドイツ語 までの履修が必要である。				
	授業項目	時間	内容		
1	ドイツ語の発音およびドイツ語辞典について	2	英語と区別してドイツ語の発音ができる。		
2	人称代名詞、動詞について	2	初歩的なドイツ文を読み、訳することができる。		
3	名詞と冠詞、文型の基本について	4	名詞の性と冠詞の格変化を覚え、簡単な文章を訳することができる。		
4	前置詞について	2	前置詞が使われている文章を解読できる。		
5	分離動詞について	2	分離動詞の特徴を理解し、分離動詞が使われている文章を解読できる。		
6	復習	2	例文によって総復習する。		
	後期中間試験				
7	助動詞について	2	助動詞の特徴を理解し、分離動詞が使われている文章を解読できる。		
8	過去形、副文の特徴について	4	過去および副文の文章の特徴を理解し、分離動詞が使われている文章を解読できる。		
9	完了形について	2	完了形の文章の特徴を理解し、現在完了形・過去完了形が使われている文章を解読できる。		
10	形容詞、副詞、分詞、不定詞について	2	形容詞や副詞、分詞や不定詞が使われている文章を訳することができる。		
11	ドイツ語の辞書の使い方	2	ドイツ語の辞書の特徴を理解し、利用できる。		
12	例文による読解練習	2	簡単なドイツ文を読解できる。		
13	総復習	2	例文によって総復習する。		
	学年末試験				
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	発音・文法等、英語と違うドイツ語の特徴を理解し、ドイツ語文法の基本(動詞の人称変化、名詞の格変化、前置詞と格支等々)を習得して、辞書を使って簡単なドイツ語原書を解読できる。以上によって(A-1)を評価する。				
成績評価	定期試験(100点)によって評価し、60点以上を合格とする。				
教材	教科書: Y. Nishimura & R. Petrik, Komm doch mit nach Deutschland, Ikubundo, 2013 辞書: 収録語数5万～6万語の初心者向け独和辞典。				
オフィスアワー	水曜日14:30～16:00。福利施設2F。面談希望の場合は、伝言メモ(研究室ドア横)やメール(hiroo@nagano-nct.ac.jp)での事前連絡によって時間調整する。				